



ほふる

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆

～あなたの悩み事は当社までご相談下さい～

【今月の一冊】 幸福の資本論

橋 玲 著 ダイヤモンド社

ホームページ URL <https://primecorporation.jp/>

発行日 2024年8月1日 Vol. 262

発行元 有限会社プライム・コーポレーション

代表取締役 渡 邊 敏 徳

〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲 147 番地

TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

未来の生活と投資

令和元年に金融庁が公表した報告書「高齢社会における資産形成・管理(金融審議会 市場ワーキング・グループ)」の中で、「老後30年間で約2000万円が不足する」との試算が示され物議を醸した問題。所謂「老後2000万円問題」です。

この報告書では、夫が65歳以上、妻が60歳以上の高齢夫婦無職世帯をモデル世帯とした場合、毎月約5.5万円の赤字が発生し、20～30年間で不足する生活費は約1320～1980万円に上ると試算されています。

しかし、老後に必要となる金額は年金や貯蓄額、ライフスタイルによって異なってくるため、皆が同じように2000万円不足するわけではありません。あれから5年が経過しインフレも進み物価もどんどん高くなってきました。私たちの未来の生活を考えるにあたり“投資”というのを考えていかなければならない時代のようなのです。

“投資”と聞くとやはり「株式投資」を思い浮かべる人が多いかと思いますが、しかし、銀行に預金して利息を得る行為も投資になります。投資先は、株式、債権、商品、不動産、為替など多岐にわたります。

最近では、iDeCo や新 NISA がとても話題になっていて取り組み始めている人も多いと思います。iDeCo は、自分が拠出した掛金を自分で運用し資産を形成する年金制度です。掛金は65歳になるまで拠出可能であり、60歳以降に老齢給付金を受け取ることができます。また、NISA とは、株式や投資信託の配当金や分配金、値上がりで得られた売却益が非課税になる国の制度です。

この様に「老後の生活のことは自分で考えましょう」といろんな制度を積極的に取り組むように仕掛けられていることを冷静に考えてみると、国は我々国民の未来の生活を守ることを放棄しているかのようにも取れます。私たちの未来の生活を守るといことは自己責任ということなので



でしょうか。何事も新しいことへの投資チャレンジはあっていいと思いますが、みんながやり始めているからと何の知識も得ずにやり始めるのはとても危険です。2022年度から学校教育で投資教育が導入されています。投資はギャンブル性の一面もありますので、投資先の知識を得てから取り組むことが大切だと思います。

パリ オリンピック

2024年7月26日から8月11日まで、第33回オリンピック競技大会がフランス・パリを中心に、32競技329種目が実施され、開会式ではパリ中心部を流れるセーヌ川が舞台となり開催されました。パリでオリンピックが開催されるのは、1900年、1924年に続き3回目となりました。

17日間にわたって行われたパリオリンピックで、日本人の活躍は目覚ましく金メダル20個、銀メダル12個、銅メダル13個のあわせて45個を獲得し、金メダルの数とメダル総数は海外で行われた大会の過去最多を更新しました。各国のメダル獲得数は、アメリカ、中国に続き3番目で大きく躍進しました。

今大会はとても大きな盛り上がりを見せた一方で、誤審があったのではないかと物議を呼んだり、選手への誹謗中傷があったりなど、様々な課題もありました。抗議を有料(1回につき約8万円)にした種目や、“AIでの採点”も導入され正確性や公平性が一歩進みました。将来的には“ロボット審判”が誕生することも近いと感じさせました。

オリンピックは4年に一度開催される世界的なスポーツの祭典です。スポーツを通じた人間育成と世界平和を究極の目的としていますが、世界の各地で紛争は続いています。環境問題に配慮した大会やお金を余りかけない運営が求められると思うのですが、次の開催地はアメリカのロサンゼルスです。商業的なオリンピックの復活にならないように願いたいものです。



【座右の銘にしたい名言】



壁というのは、できる人にしかやってこない。超えられる可能性がある人にしかやってこない。壁がある時はチャンスだと思っている。

イチロー (日本、アメリカのプロ野球選手)